

令和6年度 佐賀県高等学校総合体育大会 ボクシング競技 実施要項

1. 期日・内容

- (1) エントリーズチェック 令和6年5月10日(金) 15:00～
組合せ抽選 16:00～
- (2) 監督会議 令和6年5月24日(金) 10:00～
- (3) 開会式 令和6年5月24日(金) 12:00～
- (4) 健診・計量 (1回戦) 令和6年5月24日(金) 9:00～
(準決勝) 令和6年5月25日(土) 9:00～
(決勝) 令和6年5月26日(日) 9:00～
- (5) 競技 (1回戦) 令和6年5月24日(金) 13:30～
(準決勝) 令和6年5月25日(土) 13:30～
(決勝) 令和6年5月26日(日) 13:30～
- (6) 閉会式 令和6年5月26日(日) 競技終了後
- (7) 会場 SAGAプラザ総合体育館ボクシング場
〒840-0293
佐賀県佐賀市日の出1-21-15

2. 階級 ピン級からミドル級までの8階級とする。

3. 競技規則
- (1) 競技規則 (公社) 日本ボクシング連盟競技規則による。
 - (2) 競技方法
 - ア) 個人戦とするが、学校対抗を兼ねる。
 - イ) 1試合3ラウンド(1ラウンド2分)
 - ウ) トーナメント方式で行い、優勝・2位・3位を決定する。
 - (3) 得点規定
 - ア) 原則として、抽選の不戦勝を除き1勝毎に勝ち点1を与える。
 - イ) 優勝者5点・2位3点・3位1点の入賞点を与える。
 - (4) 学校対抗順位決定方法
 - ア) 個人得点の合計点で決定する。
 - イ) 同点の場合は、優勝者の数による。

- ウ) ア) イ) でも同点の場合は準優勝者の数による。
- エ) ア) イ) ウ) でも同点の場合は、3位の数による。
- オ) ア) イ) ウ) エ) でも同点の場合は、同位とする。

4. 組合せ抽選

5月10日(金)

SAGA プラザ総合体育館ボクシング場で、佐賀県高体連ボクシング専門部委員会にて抽選を行う。

5. 引率・監督

引率責任者は当該校の職員、また当該校校長の認める学校職員とする。また校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(地用公務員法第22条の2に示された者)も可とする。但し、当該都道府県高等学校体育連盟会長に事前に届けること。

6. 参加資格

- (1) 選手は佐賀県高体連に所属している生徒で、本競技実施要項により参加資格を満たしている者に限る。
- (2) 当年度(公社)日本ボクシング連盟に登録済みで、選手手帳の実戦競技資格証明の欄で証明されている選手。
- (3) 平成17年(2005)年4月2日以降に生まれた者。但し、出場回数は同一競技3回までとし、同一学年の出場回数は1回限りとする。
- (4) チームの編成において、全日制過程・定時制課程・通信制過程の生徒による混成は認めない。
- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。
- (6) 転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住等やむをえない場合は、所属高体連会長の許可があれば、この限りではない。
- (7) 選手は、本年度の総合健診を受け、在学する学校長の承認を必要とする。総合健診については選手手帳の本年度分「健康診断記録」に必要事項が記載され、医師の署名捺印がされていること。なお、一般診療以外に受診しなければならない総合健診の内容は以下のとおり。
 - ①血液・尿検査は年一回実施していること。
 - ②心電図・レントゲンは以下の節目に実施していること。
(ボクシング開始時・中学・高校の各入学時)
 - ③CT スキャン(またはMRI)を実施済みで頭蓋内病変、及びボクシング競技に支障のないくも膜のう胞のない証明を受けていること。
(選手手帳に明記、もしくは証明書を添付していること)

- (8) 選手は、選手手帳を携帯すること。不携帯や記載等に不備がある場合は出場できない。(表紙に写真を貼る。新規手帳の場合は前の手帳も併せて携帯しておく。競技機関途中で記入欄がなくなった場合は失格とする。
- (9) 参加資格の特例による学校の参加については、佐賀県高等学校体育大会開催基準要項のおとおりとする。

7. 参加人員

1校につき各階級3名以内とする。

8. 参加申込

- (1) 申込締切日 令和6年5月8日(木)
- (2) 申込先 〒840-0016 佐賀市南佐賀3丁目11-15
佐賀県高等学校体育連盟事務局
- (3) 所定の参加申込書により3部を作成し、各学校で取りまとめて佐賀県高体連事務局に提出する。
- ※大会参加に関して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

9. 表彰

団体、個人ともに3位まで表彰する。団体は閉会式、個人は競技終了後リング上で行う。

10. 備考

- ・ 組合せ抽選を行う際、第1シード第2シード選手を設ける。
- ・ 各階級1位の選手がインターハイの出場権を獲得する。1階級のエントリーが8名を超えた場合は予選会を行う。九州総体への出場については各階級1位の選手がAパート、2位の選手がBパートへ出場する。階級の変更は認めない。但し、2位が空位の場合、会議を開き承認を得れば前後階級3位の選手が出場することが出来る。
- ・ ヘッドガードは日本連盟の検定品で劣化がひどくなければ、メーカーは問わない。競技者はコーナーカラー(赤・青)のものを着用しなければならない。グローブは、大会本部で用意したものを使用する。カッププロテクターはチームまたは各自で準備すること。ハイカットタイプの使用は禁ずる。
- ・ ユニホームはコーナーカラー(赤・青)に限る。ベルトラインは白またはトランクス、ランニングとはっきりと違う色で6cm~10cm幅でなければならない。
- ・ 赤色または赤に類する色のガムシールドは使用を禁ずる。
- ・ 計量は、パンツ(スパッツは認めない)を履いたままでよい。選手が希望すれば、全裸で計量することもできる。(計量は1回のみ)
- ・ 視力は、両眼で0.1を超えなければならない。ただし、ソフトコンタ

クトレンズを使用しての矯正視力は0.4以上なければならない。(競技中着用する選手は、健診時ドクターに申し出ること)

- 毛髪等については「公益社団法人日本ボクシング連盟医事ハンドブック 第5章 毛髪」を厳守すること。
- 刺青については「一般社団法人日本ボクシング連盟医事ハンドブック 第5章 刺青」を厳守すること。
- 健診時に、「健康申告書」を提出すること。
- 競技中の疾病・負傷の応急処置は主催者側で行うが、以降の責任は負わない。
- 大会に参加する選手必ず引率責任者によって引率されるものとし、引率責任者は選手のすべての行動に対し責任を負うものとする。